

# 第3期 幸区区民会議フォーラム

## 実施報告書



平成24年6月

幸区区民会議

# 目次

<b>1 . 第3期幸区区民会議フォーラムの実施概要</b> .....	1
<b>2 . 第3期幸区区民会議フォーラムの実施内容</b> .....	2
( 1 ) 区民会議全体報告 .....	2
( 2 ) 「安心・思いやり部会」の報告 .....	3
( 3 ) 「環境部会」の報告 .....	4
( 4 ) 講演「東日本大震災の被災者による体験談」 .....	5
( 5 ) ミニコンサート .....	6
<b>参考資料</b>	
( 1 ) 当日展示したパネル .....	7
( 2 ) 第3期幸区区民会議フォーラムアンケート実施結果 .....	9

## 1. 第3期幸区区民会議フォーラムの実施概要

第3期幸区区民会議の取組を区民に発表することを目的として、平成24年6月9日(土)に「第3期幸区区民会議フォーラム」を開催した。当日は約120人が来場した。

表. 当日の実施概要

開催日時	平成24年6月9日(土)午後1時30分~3時30分
開催場所	幸市民館大会議室
来場者数	約120人

フォーラムの内容は次のプログラムの通りであり、第3期幸区区民会議の発表(全体及び各部会)のほか、東日本大震災の被災者の方(宮城県女川町から幸区に避難)による体験談やパーカッションアンサンブルによるミニコンサートを実施した。

図. 当日のプログラム

### 第3期幸区区民会議フォーラム プログラム

日時: 平成24年6月9日(土) 13:30~15:30  
会場: 幸市民館大会議室

(司会: 石原委員)


開会

- 1 幸区長あいさつ
- 2 第3期幸区区民会議全体報告 (説明: 神谷副委員長)
- 3 講演 「東日本大震災被災者(宇野重治さん)による体験談」
- 4 「安心・思いやり部会」の報告 (説明: 土倉部会長)

(休憩)

- 5 ミニコンサート (出演: 「すまいる☆びーと!!」)
- 6 「環境部会」の報告 (説明: 君和田部会長)
- 7 閉会のあいさつ (神谷副委員長)

閉会



幸区誕生40周年

## 2. 第3期幸区区民会議フォーラムの実施内容

### (1) 区民会議全体報告

神谷副委員長が、区民会議全体に関する内容(区民会議の仕組みや審議の流れ、第3期幸区区民会議の特徴など)を中心にパワーポイントを使って説明した。

#### (報告の主な内容)

区民会議の概要

幸区区民会議委員等の紹介

幸区区民会議の審議の流れ

審議テーマの選定

専門部会の設置

第3期区民会議の特徴

区民会議のPR

写真・神谷副委員長による全体報告の様子



## (2)「安心・思いやり部会」の報告

安心・思いやり部会の取組について、土倉部会長が報告を行った。

報告は、新規テーマ「高齢者のサポート体制と地域コミュニティ」、及び継続テーマ「夢見ヶ崎公園の魅力発信に関するソフト的取組」の具体的な検討概要やこれまでの取組を中心に行った。

最後に、新規テーマの提言「高齢者など支援を必要とする方々のため、区民に『地域交流の場』や『日常生活のサポート窓口』の情報発信を進める」、継続テーマの提言「夢見ヶ崎公園周辺が多世代交流の場となるよう、子どもを中心としたイベントなどを継続的に実施する」を発表した。

### (報告の主な内容)

#### 審議テーマの概要

新規テーマ「高齢者のサポート体制と地域コミュニティ」の具体的な取組内容

- ・シンポジウムの概要・当日の様子
- ・意見交換会からの主な知見
- ・参加者アンケートの分析

継続テーマ「夢見ヶ崎公園の魅力発信に関するソフト的取組」の具体的な取組内容

(検討の背景、具体的な取組、「夢こんさあと」と連携したイベントの実施概要)

新規テーマ・継続テーマの提言

写真．土倉部会長による安心・思いやり部会の報告の様子



安心・思いやり部会の発表内容に対し、会場の参加者(2名)から質問・意見があった。概要は次の通りとなっている。

#### 【参加者A】

- ・今回の取組は通常時のものが中心であるが、非常時のことをもっと考える必要があると思う。幸区のような都市的なエリアで火災が起こったらどうなるかなど想定すると、訓練を義務化するぐらいのことはしなければいけないのではないかと考える。

#### 【参加者B】

- ・自分は加瀬山でボランティアをやっているが、区民会議の取組の中で加瀬山を取り上げていくことは非常によいことだと思う。ただ、ゴミが多く出るので加瀬山をきれいに使っていくことなども考えてほしい。

### (3)「環境部会」の報告

環境部会の取組について、君和田部会長が報告を行った。

報告は、新規テーマ「地域におけるエコ・環境の推進」、及び継続テーマ「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」の具体的な検討概要やこれまでの取組を中心に行った。

最後に、新規テーマの提言「ゴミの分別方法に対し、区民の目線に立ったわかりやすい情報提供を行い、ゴミ分別を徹底し、地球環境への意識向上を図る」、継続テーマの提言「定期的かつ継続的な意識啓発活動を展開し、区民の自転車マナーの向上を促進する」を発表した。

#### (報告の主な内容)

##### 審議テーマの概要

##### 新規テーマ「地域におけるエコ・環境の推進」の具体的な取組内容

- ・ イベント会場での啓発（ゴミ分別ゲームの実施、のぼり・ジャンパーによる区民会議のPR）の概要
- ・ 小中学生を対象にした出前講座の概要

（出前講座の実施概要・プログラム、部会における検討の過程、出前講座の様子、ゴミ分別ゲームの結果分析、家庭へのアンケートの分析）

##### 継続テーマ「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」の具体的な取組内容

（検討の背景、部会での主な提案・意見、具体的な取組）

##### 新規テーマ・継続テーマの提言

写真．君和田部会長による環境部会の報告の様子



#### (4) 講演「東日本大震災の被災者による体験談」

平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生した。

区民会議では、安心・思いやり部会の検討の中で震災をテーマに取り上げ、部会の取組として区内 3 地区で実施したシンポジウムの際に、東日本大震災の被災者である宇野さん（宮城県女川町で被災し、現在は幸区在住）に講演をお願いした。

壮絶な実体験を熱心に、時にユーモアも交えながらの講演が好評であったことから、今回の区民会議フォーラムにおいても講演を頂いた。

写真．宇野さんの講演の様子



#### (講演の主な内容)

- ・宮城県女川町では町の総人口 1 万人に対し、831 名が津波等の被害により死亡・行方不明
- ・宇野さんが居住していた「桐ヶ崎地区」では、地区の全世帯が全壊・建物流出したが、死亡・行方不明者が発生しなかった。
- ・通常の備えは通用しなかった。無線はすぐに落ち、自宅内は倒壊防止対策をしていたが、全てのものが倒れた。
- ・津波は、10m 以上の「真っ黒な壁」のようであり、この壁が家を押し流していった。
- ・被災時には、「被災者が被災者を助ける」しかない。その状況をよく考えて欲しい。
- ・発災後、3 日間は自衛隊の救助も届かなかったので、この 3 日をなんとか耐える必要がある。
- ・特に大事なことが 4 つあるので、参考にして頂きたい。

タンス貯金をしないこと。

銀行等に預けておけば、例え通帳が紛失しても罹災証明があれば再発行可能だが、タンス貯金していた場合、お金が流されたら終わり。盗難にあう場合もある。

免許証など、自分を証明できるものを必ず携行すること。

人助けよりも、まず自力で自分の生命を守ること。

アルバムの写真など、思い出に繋がるものはできる限り持って逃げる。大きな後悔になる。

## (5) ミニコンサート

区民会議フォーラムのアトラクションとして、ミニコンサートを実施した。幸区在住のメンバーを中心に活動している男女4人組の音楽ユニット「すまいる びーと!!」が出演し、約30分の時間の中で7曲を演奏した。通常のコンサートなどでは使われることがほとんどない、珍しい楽器を使った参加者も楽しめるような工夫を凝らした内容であった。

(「すまいる びーと!!」のプロフィール)

- ・「洗足学園音楽大学」OB・OG 4人組によるパーカッションユニット
- ・幸区在住のメンバーを中心に活動し、主に幼稚園や高齢者福祉施設を中心にコンサートを実施

写真・当日の演奏の様子





参考資料

(1) 当日展示したパネル

### 第3期幸区区民会議 活動報告

#### ■区民会議とは?

川崎市では、平成17年4月に「市民が主役のまちづくり」を進める原則を定めた「川崎市自治基本条例」を施行しました。条例の制定後、これまで窓口サービス機能中心であった区役所を、今度は「地域の課題を自ら発見し解決できる市民密着拠点」へと転換していくため、川崎市や各区役所では様々な取組を継続しました。

その重要な取組の一つが、平成18年4月に「川崎市区民会議実施」に基づき設置された区民会議です。区民会議では、区民代表による委員が地域の活動などを通じてとらえた課題について話し合い、区をもっと住みよいまちにするために、地域の課題解決に向けた具体的な取組や、参加と協業のあり方などについて審議しています。



#### ■区民会議を通じた課題解決までの流れ

区民会議では、区における地域社会の課題を把握し、住民の参加と協業により、その解決を図るための方針及び方法について調査・審議します。区民の自発的な地域での活動や、日々の暮らしの中で発見した地域社会の課題を指摘しながら共通の理解を深め、解決の方向性や具体的な解決方法を審議していきます。

審議結果は区長が受け取り、区民との協業の推進や関係機関との連携等により課題解決に取り組みます。委員も審議結果を受け、地域での課題解決に向けた実践活動につながります。



#### ■幸区区民会議のこれまでの取組

区民会議は、2年毎を1期とし、これまで、第1期（平成18年7月～平成20年6月）、第2期（平成20年7月～平成22年6月）の2期が実施されました。

区民と行政の「密着」によるまちづくりにつなげるための「提言」を受け、区内で具体的な取組がなされました。



「暮らしやすさへの高内サインの設置」  
「安心して子育てできる環境づくり」の審議を踏まえた区民提案事業の実施（あそびの広場を活用して、子ども（乳幼児）が保護者同士が遊びながら交流できる場の提供）

#### ■第3期幸区区民会議の特徴

第3期区民会議（平成22年7月～平成24年6月）は、「行政の施策への提言を行うこと」に加え、区民会議自体が自ら動き、より具体的な施策につなげていくことに主眼を置いていることが特徴です。

#### ■第3期幸区区民会議の委員

第3期区民会議は、以下の20名の委員で構成しています。委員は、地域で活動する団体からの推薦の他、公募等により市長が選定しています。

各委員が関心を持つテーマから、「環境部会」「安心・思いやり部会」の2つの部会を組織し、10名ずつに分かれて取組を検討しています。

環境部会		安心・思いやり部会	
氏名	所属団体・公職	氏名	所属団体・公職
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員
佐藤 賢一	幸区民会議委員兼委員団代表	藤田 誠	幸区民会議委員

### 「環境部会」の取組

#### 「地域におけるエコ・環境の推進」の取組

幹事テーマ「地域におけるエコ・環境の推進」では、次の2つの取組を行いました。

- ゴミの分別のPR・イベントの実施
- 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

#### ○取組の背景

平成23年度から全市でミックスペーパーの回収。幸区など一部の区ではプラスチック製容器包装の回収もはじまったことから、区民にとって身近なゴミについて、分別意識の啓発を図っていくためのテーマとしました。

#### 1. ゴミの分別のPR・イベントの実施

次の2つのイベントにおいて、ゴミ分別のPR活動を行いました。

イベント名	開催日	実施内容
ソレイユカーニバル	平成23年10月2日（日）	ブースでのゴミ分別ゲームの実施
幸区展覧会	平成23年10月15日（土）・16日（日）	ブースでのゴミ分別ゲームの実施

（実施した内容）

- 区民会議のブースを設け、参加者にゴミ分別ゲームを実施しました。
- 参加者のために、配布用（エコエコチップ）を配布しました。
- ※委員はカワイイのジャンパーを着用し、区民会議ののぼりを立てて区民会議のPRも行いました。



#### 2. 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

連携先と連携し、昨年10月から5か月間で計13の小中学校でミックスペーパー・プラスチック製容器包装等のゴミ分別に関する出前講座を実施しました。

（出前講座のプログラム）

項目	内容
講師	区民会議委員
参加者	小中学生
実施場所	小中学校
実施時間	約30分
実施回数	13回
実施人数	約1,000名
実施内容	ゴミ分別の重要性、分別方法、分別の仕方、分別のルール、分別の意識の啓発
実施結果	参加者の理解が深まり、分別意識が向上した

#### ○区民会議における検討の様子

ゲームのルールなどは委員が子どもたちの視点に立ち、プレゲームを行いながら作成。「ゴミ分別ゲーム」では、ミックスペーパー・プラスチック製容器包装・普通ゴミ・資源物回収に出すゴミ・ペットボトルなど全項目から24種別を出しました。



専門知識を持つ子どもたちも  
講師による説明と質問  
子どもたちの質問と発言

#### ○小中学校における出前講座の様子



#### ○小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施結果

（ゴミ分別ゲームの結果）

- ミックスペーパーの正答率が高い。
- 中でも、発泡スチロール・レジートの正答率が高い。
- ストロー（普通ゴミ）など、プラスチック製容器包装と間違えやすいものがある。



出前講座の実施後、一定の期間において実施したアンケートの結果から、出前講座の実施前には、ゴミ分別が「理解できていない」とする割合が10%前半程度だったものが、講座受講後は20～30%程度まで向上していることがわかりました。

分別が「理解できている」と回答した人

講座受講前	講座受講後
10%前半程度	20～30%程度

「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」の取組

継続テーマ「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」では、次に掲げるような社会状況を踏まえ、取組内容を検討しました。

- ・携帯電話を使用しながらの運転、自転車事故の増加（スポーツタイプの自転車の整備不良など）など、自転車利用の方法が社会変容化
- ・平成23年10月に警察庁が通告を発出し、主に歩道における自転車走行の規制を強化
- ・協議部会では主に以下のような提案・意見が出されました。
- ・また、平成23年11月に実施された「白百合まつり」において、自転車のマナーアップ啓発活動を行いました。

（部会での主な提案・意見）

- ・警察署等と連携し、街頭でチラシ配布などのPRを実施
- ・罰則などを説明するチラシ等を作成し、町内会・自治会等で配布
- ・マナーを向上させるには、罰則化が必要
- ・全国に発信するような大規模な取組が必要



「白百合まつり」でのマナーアップ啓発活動

新規テーマ「地域におけるエコ・環境の推進」の提言

提言

「ゴミの分別方法に対し、区民の目線に立ったわかりやすい情報提供を行い、ゴミ分別を徹底し、地球環境への意識向上を図る」

継続テーマ「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」の提言

提言

「定期的かつ継続的な意識啓発活動を展開し、区民の自転車マナーの向上を促進する」

「安心・思いやり部会」の取組

「高齢者のサポート体制と地域コミュニティ」の取組

継続テーマ「高齢者のサポート体制と地域コミュニティ」では、次の取組を行いました。

「震災」をテーマに高齢者の寄りごとを話し合うシンポジウム（意見交換会）を開催（東河原・部会・日吉の3地区）

○取組の背景

- ・部会では、地域の中で目暮となりがちな住居の高齢者の方のサポートや、高齢者を中心とした地域の人口の減少の速のあり方について検討を行ってまいりました。
- ・そのような中、東日本大震災が発生したことから、取組の目的についても見直ししていくべきとの議論になりました。
- ・様々な検討の結果、「震災をテーマに高齢者の寄りごとを話し合うシンポジウム」を開催することになりました。

○「シンポジウム」の実施概要

- ・2部制とし、第1部で川崎市危機管理課による「ぼうさい出前講座」を実施
- ・第2部では「震災」をテーマに、高齢者の「寄りごと」を話し合う意見交換会を実施
- ・シンポジウムは東河原・部会・日吉の3地区での実施し、初めの東河原地区では「プレシンポジウム」として実施

○プレシンポジウムの実施結果

- ・平成23年12月2日（金）10:00～12:00に、東河原1丁目の家で、プレシンポジウム（参加者約40名）を実施しました。
- ・当日は全体のテーマを次のように設定しました。

「いざという時のために身近な地域における防災出前講座」

～お年寄りなどを見守り、ふれあいを通して地域の支え合い活動を活性化させるには～



○プレシンポジウムで実施したアンケートの結果

- ・当日実施したアンケートでは、「地域が目を覚まし、支え合い活動を活性化させるため」に必要なこととして、「交流の場づくり」が最も多く、最もニーズが高いことが把握されました。



○シンポジウム（部会地区・日吉地区）の実施結果

・プレシンポジウムの結果を踏まえ、部会・日吉地区のシンポジウムでは、第2部の意見交換会に、次の提案を加え、実施しました。

1. テーマの変更  
・「地域のコミュニティやづくり」のテーマに絞る
2. 意見交換方法の変更  
・複数回に分かれた「ワークショップ形式」に変更

地区	開催日時	場所	参加者数
部会	平成24年2月14日（水） 10:00～12:00	東河原町会 第1会議室	約40名
日吉	平成24年2月21日（水） 10:00～12:00	日吉自治会館 会議室	約40名

・その他、ぼうさい出前講座と意見交換会の間の時間には、東日本大震災の被災者の方の講演会を行いました。



○意見交換会（ワークショップ）からの主な知見

- ・ワークショップ形式で意見交換会を行ったことから、参加者1人ひとりの意見を伺うことができました。
- ・「交流の場」と「高齢高齢者の見守り・コミュニケーション」について、多くの工夫事例（体験談など）が寄せられました。

●「交流の場」における工夫事例

- 地域間交流
  - ・大規模集合住宅で複数フロア単位の集会を実施
  - ・安全靴などが揃った各運動会・敬老会を実施
- 団体間の連携
  - ・高齢者中心のサークルを設け、大会等で団体間と交流
  - ・区内会、老人クラブ、その他団体などを相互に連携
- 多世代交流の場づくり
  - ・誰でも参加できる公園などの野外イベントの開催

●「高齢高齢者の見守り・コミュニケーション」における工夫事例

- 実践可能な「見守り」の方法
  - ・朝夕の時間帯による生活状況の把握
  - ・「民衆ワインの旗」などの掲示をお誘い
- 地域のキーマンなどの活用
  - ・「地域の防災使」等が暮らす情報・ネットワークの活用
  - ・キーマンを通じて高齢高齢者等を把握、多様な団体との連携
- 高齢高齢者自身の心がけ
  - ・日頃から地域活動などに参加するよう心がけ

○シンポジウムで実施したアンケートの結果

- ・「日頃利用する交流の場」の利用状況と意識についてのアンケートを実施しました。
- ・160名の参加者のうち、10%が高齢高齢者の方であったため、高齢高齢者の方とその他の方とを比較し、ニーズや課題などを把握しました。
- ・高齢高齢者の方は、その他の方と比較して、「共通の趣味が中心の場」「年齢に関係なく参加できる場」へのニーズが高いことが把握されました。

「夢見ヶ崎公園の魅力発信に関するソフト的取組」

継続テーマ「夢見ヶ崎公園の魅力発信に関するソフト的取組」では、次のような、主にソフト面での取組を検討しました。

取組項目	項目の具体的な内容
① 利用者へのニーズ把握	・夢見ヶ崎公園の利用者に対し、現状の取組の認知度・満足度や、公園へのニーズを把握するアンケート調査を実施
② 「夢こんさあと」と連携したイベントの実施	・夢見ヶ崎公園のパートナーシップにより平成24年から実施されている「夢こんさあと」と連携し、夢見ヶ崎公園において野外コンサートを実施

①利用者へのニーズ把握（アンケート）

- ・平成23年11月の「白百合まつり」において聞き取り方式で、利用者アンケートを実施し、公園利用者の特性、現状の取組の認知度・満足度、抱負（ニーズ）などを把握しました。
- ・その結果、「子どもを相手とした遊び体験やイベント（47.5%）」、「野外イベントの認知度（37.6%）」のニーズが高く、特に子どもが楽しめる野外イベントの充実へのニーズがあることがわかりました。

②「夢こんさあと」と連携したイベントの実施

- ・区民会館が「夢こんさあと」と連携し、次のイベントを実施します。
- ・開催日時：平成24年7月27日（金）18時00分～19時40分
- ・会場：夢見ヶ崎公園野球場前広場
- ・内容：女性のダンス・声かけによるコンサート
- ・区民会館の協賛：コンサートの開催支援、区民会館職員派遣協力と連携した広報 等

新規テーマ「高齢者のサポート体制と地域コミュニティ」の提言

提言

「高齢者など支援を必要とする方々のため、区民に『地域交流の場』や『日常生活のサポート窓口』の情報発信を進める」

継続テーマ「夢見ヶ崎公園の魅力発信に関するソフト的取組」の提言

提言

「夢見ヶ崎公園周辺が多世代交流の場となるよう、子どもを中心としたイベントなどを継続的に実施する」

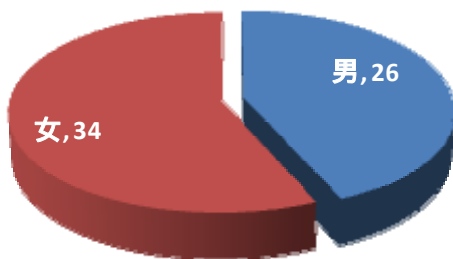
(2) 第3期幸区区民会議フォーラムアンケート実施結果

表. アンケートの実施概要

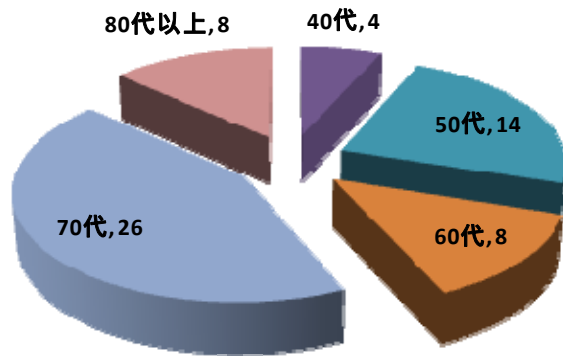
アンケート実施日	平成24年6月9日(土) 幸区区民会議フォーラム終了後
アンケート回答者数	65人
アンケート回答率	54% (当日の参加者数約120人)

回答者の属性 (設問への未回答者を除く。以降も同様)

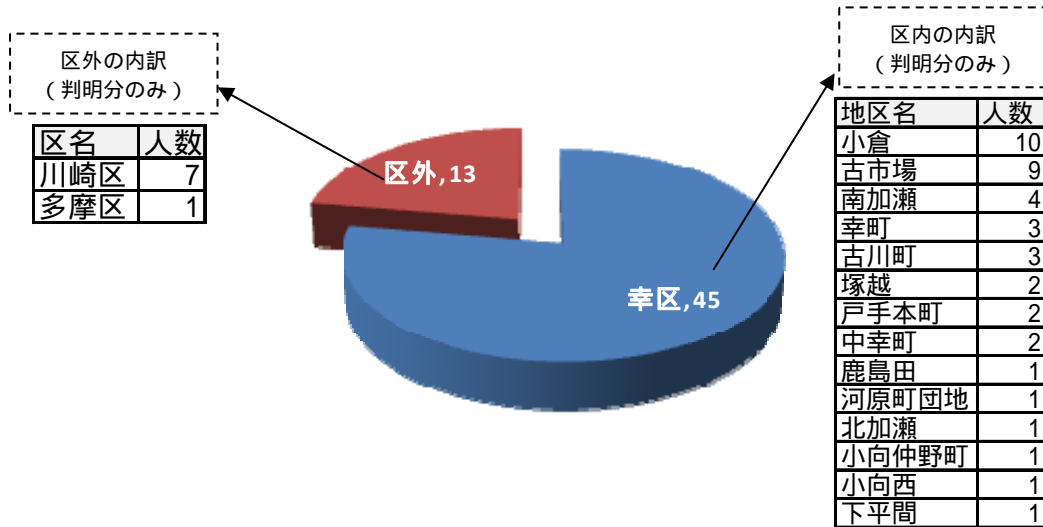
性別



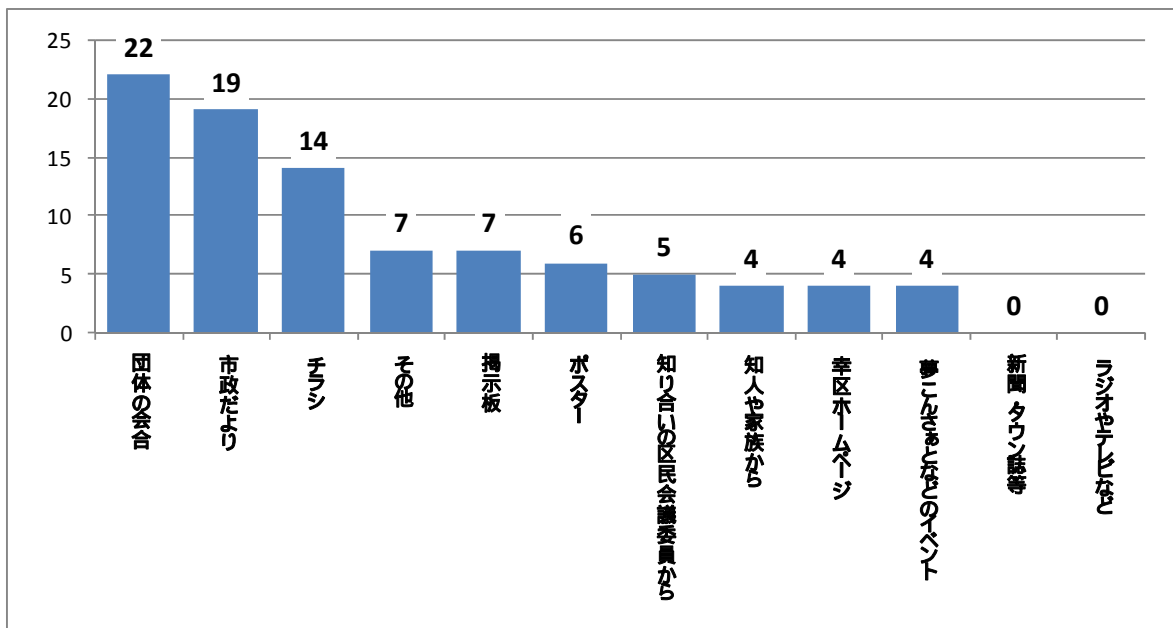
年齢



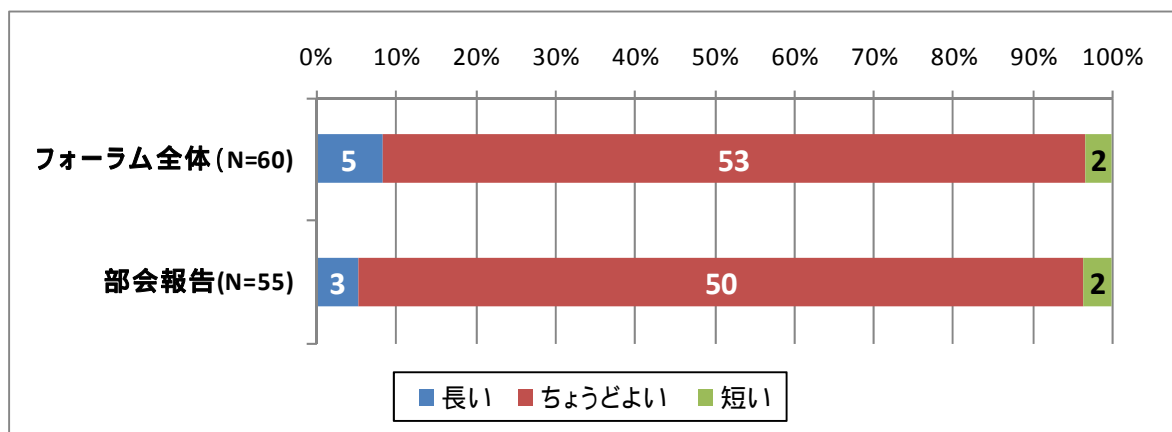
居住地



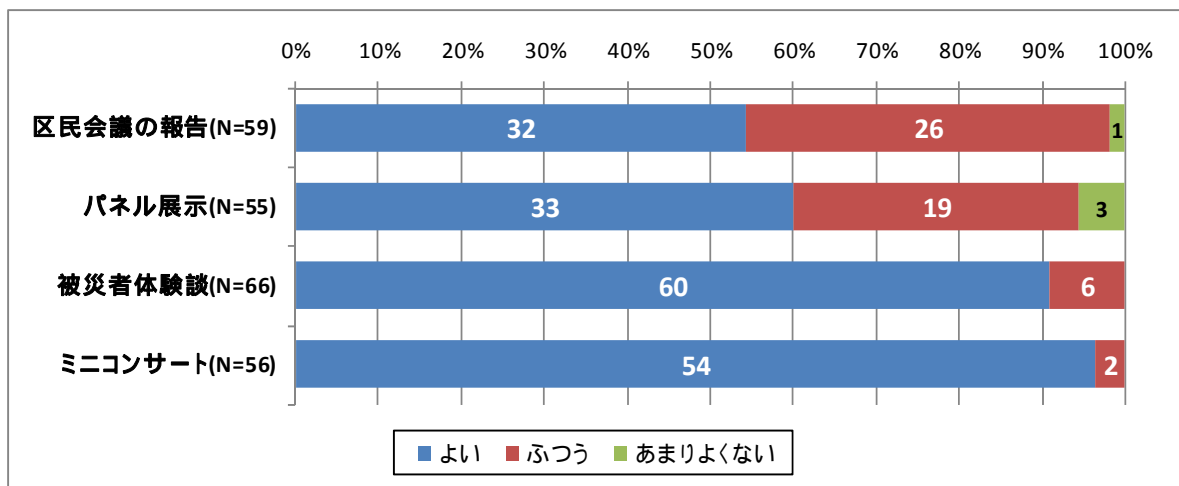
開催をどのようにして知ったか(複数回答：N=65)



フォーラム全体・部会報告時間の評価

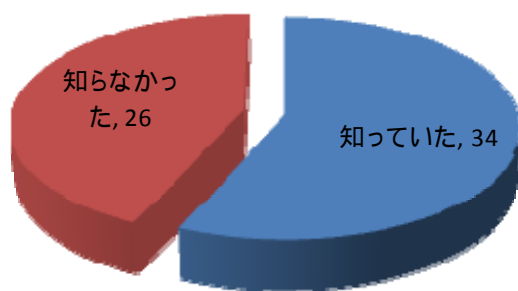


個々の内容の評価

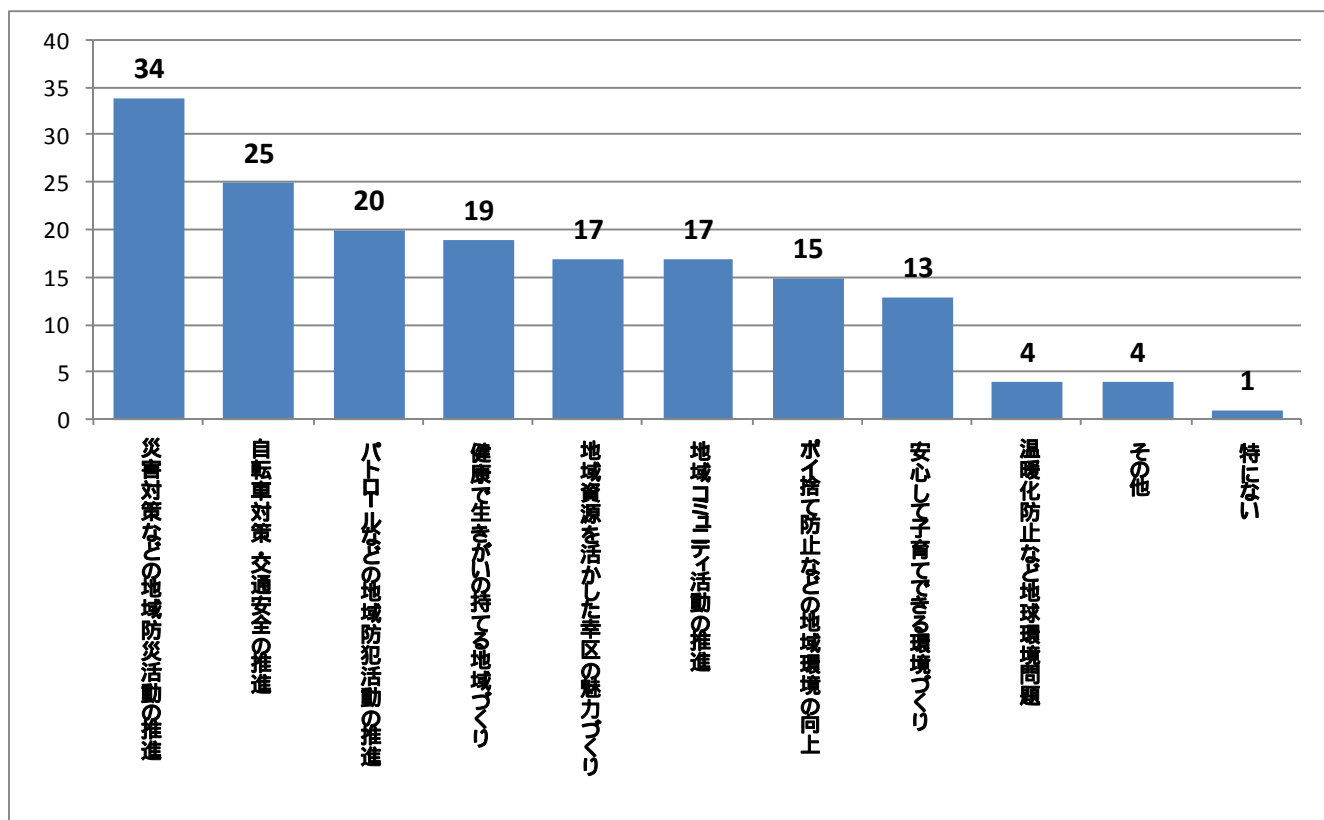


## 区民会議について

区民会議を知っていたか(N=60)



区民会議で審議してほしいテーマ(複数回答：N=65)



## 自由回答

### フォーラム全体について

- ・色々たくわしく教えていただきありがとうございました。(70代)
- ・活動しておられる区民会議の方々、お疲れ様でした。フォーラムの企画の組み立てもわかり易く、ミニコンサートを入れたり、工夫があり良かったです。(50代)
- ・今回初めて参加させてもらいました。身近な事がわかり良かったと思います。今後も機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。(70代 中幸町)
- ・今回初めて参加しましたが色々良かったです。今後もさらに発展される様に願います。(不明)
- ・コンサートは大変良かった。宇野さんのお話しをもっと聞きたかったです。(60代 古市場2丁目)
- ・被災者でいらっしゃる宇野重治さんの体験談泣けました。もっとお聞きしたかったです。すまいる びーと!!のミニコンサートは楽しませて頂きました。知らなかった楽器なども披露して下さい、知識が増したようです。(70代 河原町)
- ・知らなかったお話しが聞けて良かったです。音楽は最高です。来て大変良かったです。(70代 川崎区)
- ・私は70才以上ですが今回幸区民会議フォーラム、とてもとても楽しい時間でした。楽しい気持ちで帰りたいと思います。とても楽しかった。(70代 小倉)
- ・目が悪いので画面が見えなかった。(40代 南加瀬)

### 区民会議・部会の発表内容について

- ・自転車のマナーが年々悪くなっている。最近も赤信号から青信号に変わったので、車を発進させたら、自転車が道路の右側をスピードをゆるめることなく、信号無視(自転車側)して走り去った。駐輪対策だけでなく、安全対策にも重点を置いた取組も必要と痛感している。(50代 古川町)
- ・発表のプレゼンが説明過多 たいくつで印象に残らない。アトラクションとのコントラストの活用が望まれます。(60代 古市場)
- ・防災での集まり場所などを町内会などで住民などによく知らせてほしい。(不明)
- ・夢見ヶ崎公園のお話がありましたが、やはり清潔を保つことと思います。植栽の剪定の頻度を増やすとか、落ち葉の片づけ、道路の小補修とかボランティアの力を借りて実施した方がよいかと思います。(60代 古市場)

### 被災者の講演について

- ・宇野様のお話しを聞き、実体験に納得し、涙が出ました。さぞや恐怖と緊張であったと思います。奥様の体調はいかがでしょう。これからもご自身の体験を多くの人に広めてください。また、風化しないように。私たちは何をしたらいいのでしょうか。(70代 幸町)
- ・宇野さんの生でのお話し(体験談)とてもよかったです。コンサートもとても楽しかった。大変良かったです。(70代 古市場)
- ・宇野さんの話がよかったよ。(不明)
- ・宇野さんの話をもっと聞きたかった。時間が足りない!(60代 古川町)
- ・宇野重治さんの体験談もっと聞きたかったです。涙が出てきました。(70代 小倉2丁目)
- ・体験談をもっと詳しく聞きたい。(50代)
- ・生の体験談、いろいろ教えさせられました。もう少し聞きたかったです。(50代 川崎区)

### ミニコンサートについて

- ・ミニコンサート「すまいる びーと!!」最高。今後の活躍、期待しております。若い世代の人達にふれられ、とてもよかったです。ありがとう!(60代 小向西町)
- ・ミニコンサート大変よかった。時間があってもっといいと思った。(70代 幸町)
- ・ミニコンサート非常によかった。(70代 幸区)
- ・ミニコンサートを最後にした方がよかった。(50代 戸手本町)

### 区民会議への意見・要望

- ・区民会議の性格づけ、位置づけを明確にし、まちづくり推進委員会と重なる活動を整理して欲しい(審議機関であることを徹底する)。現状ですとまちづくり推進委員会の活動の意欲が減退する。(70代 小倉)
- ・高齢者支援課として取り組んでいるふれすこ事業との連携を望む。(70代 塚越)

# 第3期幸区区民会議フォーラム 実施報告書

平成24年6月

(事務局) 川崎市幸区役所まちづくり推進部企画課

〒212 8570 川崎市幸区戸手本町1-11-1

TEL 044-556-6612

FAX 044-555-3130

E-mail [63kikaku@city.kawasaki.jp](mailto:63kikaku@city.kawasaki.jp)

